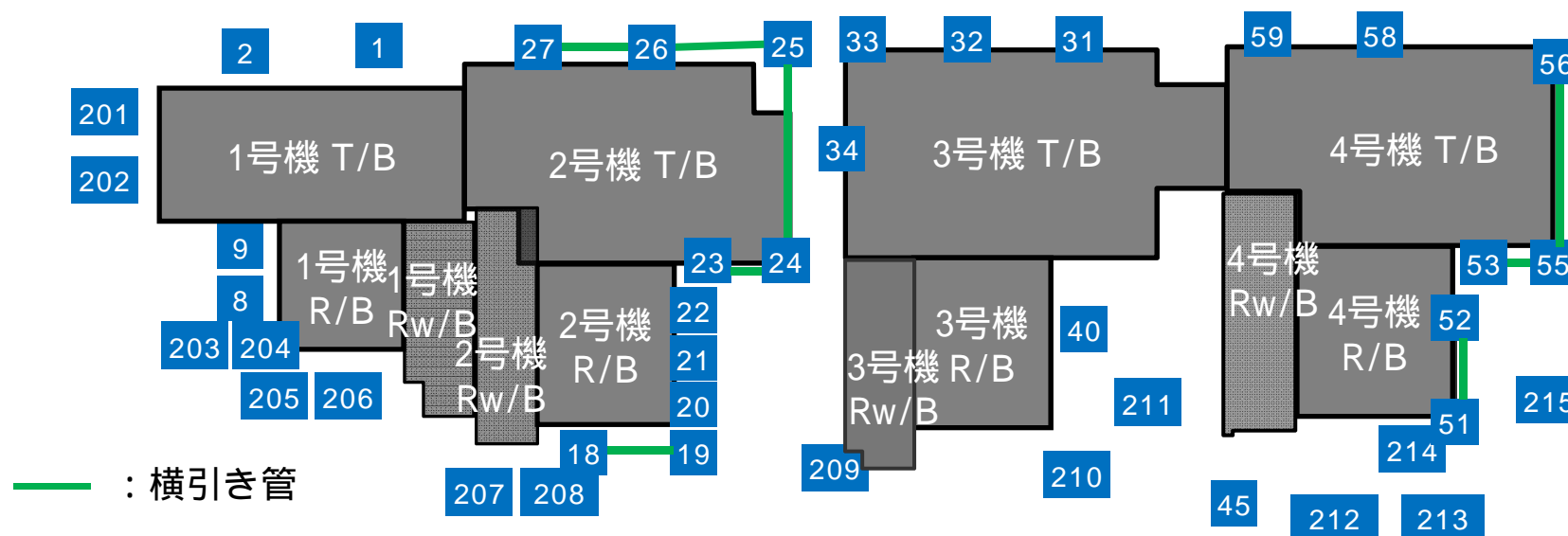


福島第一原子力発電所 サブドレン水位監視設備通信異常について

< 参 考 資 料 >
 2 0 1 8 年 5 月 1 8 日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

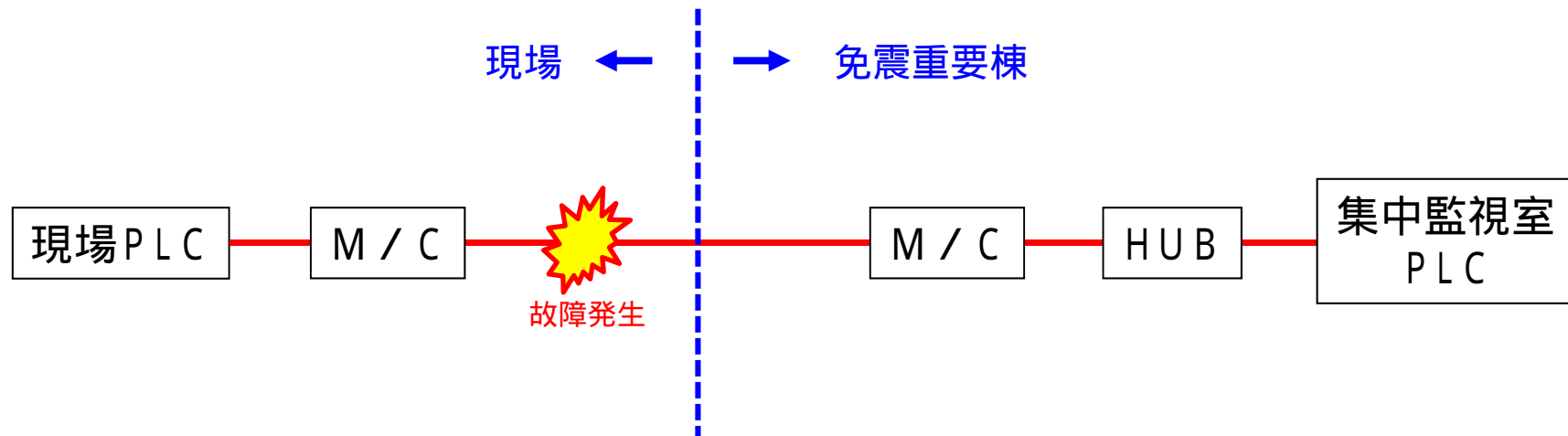
- 2018年5月18日午前11時28分に、福島第一原子力発電所構内の1～4号機建屋周辺に設置しているサブドレンピットの水位について、免震重要棟における監視が不能となった。
- 午前11時45分、現場に設置している制御装置において、サブドレンピットの水位監視状態および水位に異常がないことを確認した。
- 現場によるサブドレン水位の継続監視は困難であることから、午後0時15分に運転上の制限を逸脱していると判断した。
- 建屋内滞留水の水位よりもサブドレン水位を、引き続き高く保つため、午後0時27分にサブドレンポンプ全台のくみ上げを停止した。
- その後、伝送ケーブルを交換し、午後4時6分にサブドレン水位の通信復帰を確認した。



【注】 R / B : 原子炉建屋、 T / B : タービン建屋、 R w / B : 廃棄物処理建屋

対応状況

- 状況を確認したところ、免震重要棟監視・制御装置（P L C ）および現場P L C については健全である可能性が高いことから、通信ケーブルやメディアコンバータ（M / C ）などの信号伝送に係る機器に異常がある可能性が高いと判断。
- その後、現場を確認したところ光ケーブルに異常が確認された。光ケーブルの接続替えを実施したところ、正常に信号伝送がなされ、復旧した。



【参考】サブドレン水位計構成概略図

